

計画案に関する前回審議会提出時からの主な変更点

	変更箇所	変更内容	変更前	変更後
1	全体	年度の表記を元号と西暦を併記する方式に変更しました。	表記例：令和２年度	表記例：令和２（2020）年度
2	表紙	タイトルの年度表記を西暦に変更しました。	【令和３～12年度】	【2021～2030】
3	将来都市像 3ページ	将来都市像の「ふるさと」の説明文に、まちへの愛着形成に向けた子どもたちの参画について盛り込みました。	また、本市に愛着やシビックプライドを持つことで、本市を「ふるさと」と感じ、いつまでも住み続けたいと思える市民を増やしていきます。	また、未来を担う子どもたちをはじめとする市民の方々が、本市に愛着やシビックプライドを持って、自らまちと触れ合っていくことを通じ、本市を「ふるさと」と感じ、いつまでも住み続けたいと思えるようにしていきます。
4	市民生活の 目標像 4ページ	目標像３の名称を、より分かりやすい表現に見直しました。	目標像３：身の回りの不安が軽減される	目標像３：身の回りの生活上の不安が軽減される
5	基本戦略① 9ページ	基本戦略①と②とで「賑わい」という表現が重なって使用されていたため、基本戦略①の表現を見直しました。	基本戦略① 和光市駅周辺の賑わいの創出	基本戦略① 和光市駅周辺の魅力の向上
6	基本戦略⑥ 10ページ	児童虐待に関する言及を、社会課題という捉え方ではなく、市の状況を踏まえた課題としての捉え方に見直しました。	また、社会的な課題となっている児童虐待については、これまで推進してきたわこう版ネウボラとともに、子ども家庭総合支援拠点の創設等により児童虐待防止への取組を充実していきます。	また、核家族世帯が多く、子育て世代が孤立しやすい状況を踏まえ、これまで推進してきたわこう版ネウボラとともに、子ども家庭総合支援拠点の取組等により、児童虐待などに至らない健やかな子育て環境にしていきます。
7	施策1-6 23ページ	広域処理施設について、より丁寧の説明を加えました。	・市内から発生したごみ処理を担う清掃センターは竣工から約30年が経過し、老朽化が進んでいるため、和光市内に朝霞市との広域処理施設を建設することについて協議を進めています。 ・広域処理施設が稼働するまでの運転期間を考慮して、定期修繕を実施し延命化を図ることが必要です。	・市内から発生したごみ処理を担う清掃センターは竣工から約30年が経過し、老朽化が進んでいるため、平成30（2018）年８月に締結された「朝霞市・和光市ごみ広域処理に関する基本合意書」に基づき、和光市内に朝霞市との広域処理施設の整備に向けた取組を進めています。 ・広域処理施設の整備に当たっては、周辺地域や生活環境への配慮が必要となります。 ・広域処理施設が稼働するまでの清掃センターの運転期間を考慮して、定期修繕を実施し延命化を図ることが必要です。
8	施策3-5 38ページ	課題解決に向けた取組内容の表現を最新の男女共同参画の社会動向を踏まえた表現に見直しました。	全体的に見直し（表現の見直しのみであり、取組内容自体の見直しを伴うものではありません）	全体的に見直し（表現の見直しのみであり、取組内容自体の見直しを伴うものではありません）
9	施策4-1 42ページ	I C Tを活用した教育について、表現を見直しました。	【現状と課題】 ・グローバル化に対応した外国語教育やプログラミング教育など、新しい時代に必要な教育の充実が求められています。 【取組内容③】 ・問題を発見し解決する能力や情報社会のルール等も含めた情報活用能力など、知識基盤社会を生きていくために必要な力を育成するとともに、小学校におけるプログラミング教育の充実を図ります。	【現状と課題】 ・I C Tを活用した教育やグローバル化に対応した外国語教育など、新しい時代に必要な教育の充実が求められています。 【取組内容③】 ・問題を発見し解決する能力や情報社会のルール等も含めた情報活用能力など、知識基盤社会を生きていくために必要な力を育成するとともに、Society5.0の時代を見据え、I C Tを活用した教育の充実を図ります。
10	施策4-3 44ページ	I C T環境の改善の必要性について、強調しました。		【現状と課題】に以下を追加。 ・児童生徒の学びの保障や新しい時代の学びに対応するため、I C T環境の改善の必要性が高まっています。
11	目標像8 64ページ	私たちができることアイデア集の「東京2020オリンピック・パラリンピック」について、新型コロナウイルス感染症の状況により開催されるかどうか自体が不透明であることから明記した表現を削除しました。	・東京２０２０オリンピック・パラリンピック、地域のスポーツイベント、クラブ活動などに関心を持ちます。	・地域のスポーツイベント、クラブ活動などに関心を持ちます。

	変更箇所	変更内容	変更前	変更後
12	施策8-1 66ページ	新たに関連する個別分野計画として位置付けた自殺対策計画との整合性から、関連する内容を計画に位置付けました。		【現状と課題】に以下を追加。 ・厚生労働省の自殺総合対策大綱によると、年間の自殺者数は減少傾向にありますが、非常事態は未だ続いています。自殺はその多くが「追い込まれた末の死」であることから、誰も自殺に追い込まれることのないよう、地域レベルでの取組が求められます。 【取組内容】に以下を追加。 ④自殺対策の推進 ・自殺のリスクを有する方を早期に発見・支援するための取組を推進します。 ・自殺予防のための相談窓口の充実や自殺に関する理解の促進に取り組みます。
13	目標像9 70ページ	市内で起業を希望する人が適切な不動産を確保することが難しい旨の課題認識を追加しました。		【主要な課題】に以下を追加。 ・市内で起業を希望する人が適切な不動産を確保することが難しい状況です。
14	目標11 84ページ	自治会に加入していない市民にとっては自治会の意義は十分に伝わっていない旨の課題を追加しました。		【主要な課題】に以下を追加。 ・自治会に加入していない市民に自治会の意義が十分に伝わっておらず、自治会の意義を啓発することが必要となっています。
15	施策12-1 92ページ	景観条例について明記しました。	【施策の目標】 まちの特色や地域の個性を生かした良好な景観を形成し、次世代に引き継ぐことにより、まちへの愛着や誇りを育みます。	【施策の目標】 景観条例に基づき、まちの特色や地域の個性を生かした良好な景観を形成し、次世代に引き継ぐことにより、まちへの愛着や誇りを育みます。
16	施策12-5 96ページ	和光市LINE公式アカウントの開設に伴い、当初想定していた課題が解消したことから削除しました。	【現状と課題】 ・デジタル化が進み、スマートフォンやアプリなどの電子媒体を用いた閲覧が求められています。また、現在取り組んでいるTwitter以外にも様々なSNSでの魅力的な情報発信が求められています。	削除
17	財政推計 105ページ	「（４）今後の財政運営について」 数値等を入れ、より丁寧な説明になるよう修正しました。	第五次和光市総合振興計画期間の財政見通しとしては、歳入面では、人口の増加や都市基盤整備事業の進捗に伴う税収増などの改善が期待できるものの、歳出面では、子育て支援や高齢化に伴う社会保障関連経費の増加なども見込まれます。特に、令和６年度から令和７年度にかけては、必要な投資的経費が多額になることが見込まれます。	第五次和光市総合振興計画期間の財政見通しとしては、歳入面では、人口の増加や都市基盤整備事業の進捗に伴う税収増などの改善が期待でき、令和12（2030）年度の市税は令和２（2020）年度に比べて約17億7千万円、11.7%の増加が見込まれます。一方、歳出面では、子育て支援や高齢化に伴う社会保障関連経費の増加などにより、令和12（2030）年度の扶助費は令和2（2020）年度に比べて約36億5千万円、43.1%増加するほか、朝霞和光資源循環組合への負担金が発生することにより、令和12（2030）年度の補助費等は令和２（2020）年度に比べて約5億2千万円、23.8%の増加が見込まれます。 特に、令和６（2024）年度から令和７（2025）年度にかけては、主に駅北口高度利用化再開発事業の進捗に伴い、必要な投資的経費が多額になることが見込まれます。
18	社会情勢の 変化 112ページ	「（３）健康・医療・福祉の連携によるまちづくり」 “都市構造のコンパクト化”を分かりやすい記述に修正しました。	今後は、日常生活圏域等において、健康・医療・福祉機能、交流機能、商業機能など生活に必要な機能を確保するとともに、歩行空間や公共交通ネットワークの充実等を一体的に取り組む都市構造のコンパクト化が求められます。	今後は、健康・医療・福祉機能、交流機能、商業機能など生活に必要な機能を日常生活圏域等において計画的に確保するとともに、移動に必要な歩行空間や公共交通ネットワークを備えた、よりコンパクトな都市構造の実現が求められます。
19	市民意識 調査結果 115ページ	満足度及び重要度の評価点について、解説を追加しました。		【グラフの見方】として解説を追加。